



広島女学院大学  
HIROSHIMA JOGAKUIN UNIVERSITY

# Campus news

とっておき  
キャンパスライフ

2018.03.05  
SPRING  
No.191

特集  
ワタシたちの  
女学院  
思い出ファイル

女学院の  
お気に入りの  
場所は？

あなたに伝えたい

第一生命保険株式会社 高橋 理恵さん

わたしたちのキャンパスライフ

キャンパスアルバム

女学院だより

なるほど就活

vege-full menu

Relay Essay

一生懸命 向き合える  
仕事を持てるって  
幸せなことだと思います。

たくさんの仲間が支えてくれた。  
今度は自分が  
後輩たちの支えになりたい。



1 朝礼で話す高橋さん。皆の気持ちも引き締まる。2 社員との帰社対話は、仕事やプライベートの悩み相談になることも。3 誕生日に仲間や部下からももらったサプライズプレゼント。4 社員旅行で行った道後温泉。まるで修学旅行のように盛り上がる。5 勤続10年のリフレッシュ休暇で同期の仲間とシンガポールへ。

第一生命保険株式会社 西日本営業本部  
広島コンサルティング営業室 広島第一オフィス オフィス長  
高橋理恵(たかはしりえ)さん  
生活科学部 生活科学科 食物栄養専攻 2004年卒業  
大学卒業後、第一生命保険の総合営業職として就職。新入社員全員に課せられる4年間の営業経験の後、新人育成トレーナーに抜擢される。現在、中国地方にある5つのオフィスの一つを任せられオフィス長として活躍中。

頑張れる仕事があると  
人生が豊かになります。

第一生命保険の広島コンサルティング営業室支店でオフィス長を務める高橋理恵さん。入社当初は営業として企業に赴き、保険を通じて顧客の人生に寄り添っていくことにやりがいや手ごたえを感じていました。保険は人間同士の絆や信頼がないと契約には至りません。熱心な姿勢と成績、顧客からの評判が上司の目にとまり、指導職そして管理職へとキャリアアップしていきました。現職は5年目に入り、30人以上の営業スタッフを束ねています。

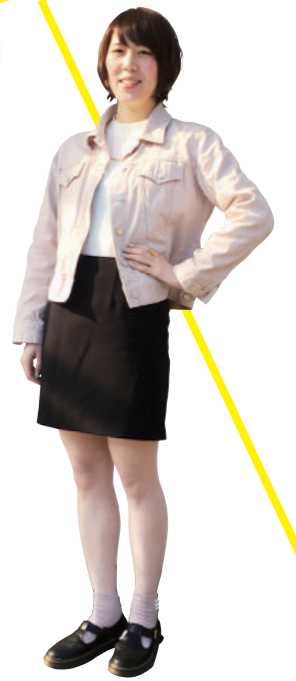
オフィス長へ推薦されたとき、高橋さんは就職して10年目。その間、広島オフィスには地元採用からオフィス長になった人はいませんでした。「結婚・出産も視野に入れた自分の将来像に、どうやってキャリアを積んで、どうやって近づいていけばいいのか、私にはお手本がなかったんです。だからこそ自分の挑戦がモデルケースになって、後輩たちのモチベーションにつながれば」と思い、勇気を出して新しいポジションに就きました。高橋さんの活躍が刺激になり、その後、続けてほかの2つのオフィスも地場から育った社員がオフィス長になりました。

大学では食物栄養を専攻し、スポーツ栄養士を目指していましたが、当時はまだ活動の場が少なく、就職は超難関。接客や営業にも興味があったので、そちらの道に進みました。「営業も好きでしたし、人を育てるのも好きなので、仕事はとても楽しいです。責任はどんどん重くなりますが、その分やりがいも大きくなっていきます」と熱意を込めます。「ワーク・ライフ・バランス」が注目されていますが、ワークとライフを相反するものとして捉えることに少し違和感があります。ワークが充実するとライフも充実しますし、ライフが充実するとワークも頑張れます。仕事を一生懸命にすることで得られるものはたくさんあって、人生を豊かにしてくれます。

立场上、人の成長を客観的に見ることで増えた今、強く感じているのが、何かをやり遂げた人は強い、ということ。自身を振り返っても、中学から始めたバスケットボールを大学卒業まで続け、アルバイトも4年間同じところで働きました。「何か一つでいいので4年間ずっと続けてほしい。いろんなことがきつとあるでしょう。それでも諦めず、くじけず、やりきったという経験は目に見えない自信と力になります」と学生の皆さんにエールを送ってくれました。

# ウタシたちの 女学院思い出ファイル

広島女学院大学で過ごした日々はどのようなものだったのでしょうか。  
卒業する皆さんに、4年間を振り返っての思い出や  
将来の目標を教えてくださいました。



生活デザイン・建築学科4年  
林 穂乃歌  
(比治山女子高等学校出身)

## 成長できたあやめ祭 ファッションショー

4年間で一番印象に残っているのは、3年生から参加したあやめ祭のファッションショーです。女学院に入ろうと思ったきっかけが、このファッションショーだったので、入学した時から楽しみました。ファッションショーでは、自分でデザインした衣装を基本1人1着制作するのですが、私は3年生で4着、4年生で2着の衣装を制作しました。3年生で4着も衣装を制作するのは予想していたとはいえ、時間的にも技術的にも、とても大変でしたが、衣装展示に来場された方による人気投票で、そのうちの1着が1位に、他の3着も10位以内に入っていました！とても嬉しかったです。4年生で作った2着の衣装も卒業制作と同時に進行していたので、仕上げるのに時間がかかりました。どの衣装もデザインを工夫し、時間をかけて制作したので、私の中で大切な思い出となっています。



3年生の時に制作した衣装4着です。図書館展示のためにキャプションにしました。左下の衣装が1位になりました。

卒業制作のウェディングドレスとタキシード



4年生の時に制作したファッションショーの衣装3着



ゼミの友人と大学の職員さんに協力していただきました▶

## ウタシの 将来

あやめ祭ファッションショーで様々な衣装を制作して、必要な技術・知識の向上だけでなく、完成までのスケジューリング管理能力やモデルとのコミュニケーション能力などを伸ばすことができ、この力を卒業制作でも発揮することができました。卒業までの残された時間にも、デザインをたくさん描いたり、衣装や作品を制作しました。就職先は布地や手芸にかかわる職場なので、衣装などの作品作りはこれからも続けていきたいと思っています。就職しても活かせる、そして伸ばせる能力だと思っているので、これからも努力していきたいです。



## オリキャンリーダーという かけがえのない経験

大学生活の中で最も思い出に残っているのは、オリエンテーションキャンプのリーダーとしての活動です。4年生の時は、トップリーダーとして携わりました。いざ自分で1年間の大まかなスケジュールを立て、指示を出す立場になると、どのように行動すれば良いのか分からずに苦労しましたが、周りの支えもあって乗り越えることができました。当日のキャンプも成功！キャンプを楽しんでいる1年生の顔を見て、ここまで頑張ってきた良かったと思いました。この活動を通して、自分自身を高めること、いろいろな人と繋がりを持つことは、私の中でかけがえのない経験になりました。特に内面的な部分で成長できたと思います。洞察力や積極性、臨機応変に対応する力を伸ばすことができました。



最後のキャンプは、このメンバーのおかげでも楽しく頑張れました！



にぎやかで楽しい昼レクメンバーと



## 苦しかったラクロス部の 活動を乗り越えて

ラクロス部に4年間所属し、ゴールキーパーとして活動していました。私のポジションはヘルメットを被り、全身を守る防具を身に付け、ゴール前でシュートを阻止するのですが、硬いゴムボールが当たった所に何度も青アザを作っていました。日差しが照りつける夏の日や、手がかじかむ程寒い冬の日の練習はとても辛かったです。また、遠征先で他大学との合同練習中に膝を痛めて歩けなくなったり、試合中に骨折してしまったりと怪我也も多く、その上、長期休暇中に行われる合宿や、長時間の戦略ミーティングに精神的に参ってしまい、辞めてしまおうかと何度も悩んだこともありました。

国際教養学科4年  
古賀 佳子  
(呉高等学校出身)



試合中、パスを出す相手を探しているところ



先輩からいただいたミサンガをみんなで作って撮った一枚

## ウタシの 将来

私は春から食品会社に就職します。以前から目標としていたレジビ考案や商品開発に将来携わることを目標としていますが、これらの仕事はいつ頃できるようなことになるかは分かりません。しかし、目標に向かって自らが努力をしなくては達成することはできないと考えています。そのためにも、大学生活の中でつけてきた力を活かして、失敗を恐れず、さまざまな事に挑戦していきたいです。そして、将来は、食べた人が笑顔になれるような商品を考えることができるよう、頑張っていきたいです。

管理栄養学科4年  
児玉 純  
(高陽高等学校出身)



アタッカーからのシュートを待ち構えているところ

夏のリーグ戦に出場する中四国の大学チームが一堂に集まった記念写真

## ウタシの 将来

肉体的にも精神的にも辛かったラクロス部を4年間も続けることができたのは、どんな時もチームの皆が支えてくれたからです。チームが得点を決めた時は、心から嬉しくなって、もっと頑張ろう！という気持ちが溢れだし、普段の練習時よりも良いパフォーマンスを発揮することができました。相手にチームに点を決められたり、試合に負けてしまったりと、悔しい思いもたくさんしましたが、女学院のラクロス部として皆と試合にいた時間は、私にとってかけがえのないものとなりました。決して楽しいことばかりではなかったですが、苦しんだ先には必ず喜びが待っているということを部活から学びました。この経験を生かして、社会人になって職場で苦しい思いをしても、必ず乗り越えて行きます！



管理栄養学科4年  
伊村 窓花  
(山口県立熊毛南高等学校出身)

ゼミ室に行けば、先生や友達がいっぱいワイワイ楽しく過ごせました。一年しか過ごせなかったのがもったいないと思うほど、この部屋での時間が大切な思い出です。

管理栄養学科4年 小松原 まどか  
(五日市高等学校出身)

3年生の時に初めて大量調理をした場所です。自分たちで献立を決め、グループで協力して100食ほどの食事を提供しました。とても大変でしたが、この経験は私の大きな自信につながりました。



管理栄養学科4年  
廣本 美沙 (高陽高等学校出身)

ソフィア1号館は調理実習室や研究室がある学舎です。1年生後半から始まる調理実習、3年生では給食100食分を提供する大量調理、また卒業研究や国家試験に向けての勉強を行う研究室もあり、とても思い出深い場所です。



幼児教育心理学科4年  
山田 絵美佳  
(広島女学院高等学校出身)

人生の半分以上を合唱と共に歩んできました。聖歌隊の部室は、学内でも目立たない場所にありますが、ここから広がった、表現と奉仕の世界は、私の想像以上のものでした。

国際教養学科4年  
小倉 葵  
(海田高等学校出身)

1年生の頃から、友達と集まって図書館4階のグループ演習室7で、発表の練習やレポートの作成をしました。4年生で卒業論文を書く時には、みんなで励ましあいながら取り組み、大変だったけれど、思い出がたくさんある場所です。



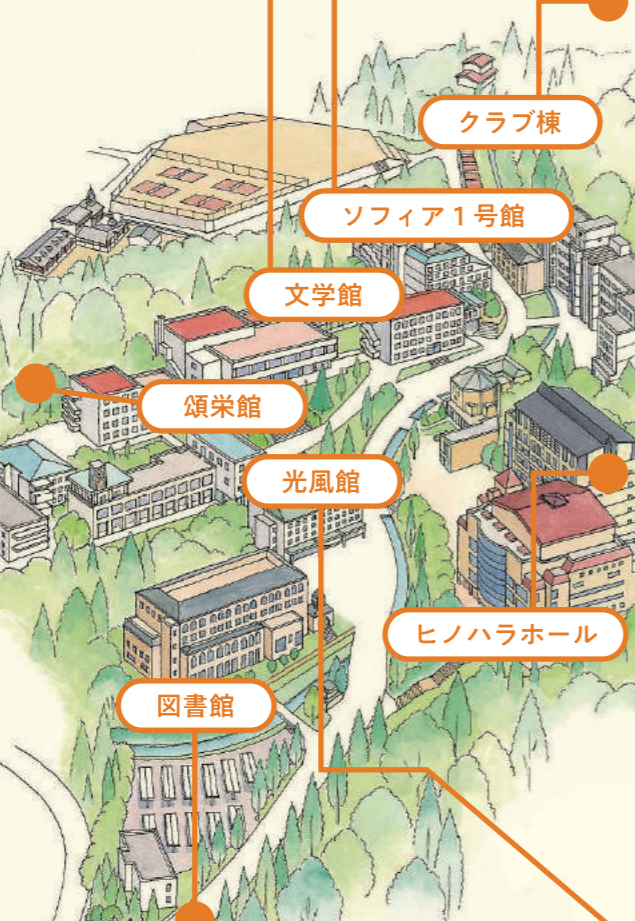
国際教養学科4年  
久留米 美緒  
(福山葦陽高等学校出身)

課題をする時に、よく図書館を利用しました。特に、4階にあるグループ演習室7では友達と一緒にパワーポイントを作って発表の練習をしたり、卒論を死ぬ気で終わらせたりしました。



国際教養学科4年  
Isoda Ajdari (イラン出身)

私はよく偏頭痛になるので、授業の合間にちょっと休みにいきました。保健師さんは、いつもとても優しく、私が早く回復できるように手を尽くしてくださいました。



生活デザイン・建築学科4年  
木原 果歩 (賀茂高等学校出身)

入学からサークル引退まで、ずっとお世話になった場所。部室までの登山気分は良い思い出です。練習帰りにインジにも遭遇！みんなと練習したあの時間は、きっとずっと忘れません。

国際教養学科4年  
井口 優香 (舟入高等学校出身)

適度ににぎやかで、明るく広々としているロビーが大好きでした。一人で勉強をしたり、友達とおしゃべりしたりと、いろいろな時間をすごしました。

Question

女学院のお気に入りの場所は？

卒業する皆さんに、お気に入りの場所をおしえてもらいました。みんなが知っている場所から、知る人ぞ知る穴場の場所まで！これからのキャンパスライフ、楽しい思い出をたくさん作ってくださいね。

my memories

皆の協力でやりきった  
幼心運動会



実行委員の学生たちと

幼児教育心理学科4年  
栗田 実季  
(賀茂高等学校出身)

幼児教育心理学科では、全学生と教員が参加して「幼心運動会」が年一回開催されます。私は、3年生の時、実行委員長を務めました。実行委員の学生が、運動会の企画や運営を行います。学科行事なので、学生に楽しんでもらえるような内容を考え、準備を進めました。委員長として実行委員をまとめ、指示を出したり、物品の管理や場所を借りる許可を取ったり、大変な仕事が多かったのですが、実行委員の皆が協力してくれたおかげで、やりきることができました。当日は雨が降って体育館での実施となり、プログラムの変更をしたりと大変でしたが、参加してくれた学生が盛り上がる姿を見て、達成感を得ることができました。



皆が盛り上がる綱引き



優勝したチームの代表にトロフィーを贈呈

ワタシの将来

運動会を実施するために、テントや音響設備の設置はもちろん、プログラム作成や当日の進行準備など、様々な作業がありました。大勢の学生が参加するため、入退場の隊形や障害物競争などで使う物品の出し入れ等、円滑な運動会の運営には、入念な事前の準備が必要だと分かりました。私は、4月から保育士として働きます。実行委員長として幼心運動会を実施した経験は、保育士になっても必ず生かすことができると思います。大学生生活での経験を忘れず頑張りたいです。

my memories

自分自身を変えることが  
できた自治会活動



クラブ紹介「インフォメーションフェスタ」のパンフレット



第11期自治会アイリスのメンバー

国際教養学科4年  
青戸 瞳美  
(安芸南高等学校出身)

以前の私は、自分に自信がなく、新しいことに挑戦するのが苦手でした。大学入学を機に、今までの自分を変えたいという気持ちが大きくなり、自治会アイリスに所属し、会長を2期務めました。自治会アイリスでのスポーツ大会やクリスマス会などの行事の運営を通して、部・サークル管理の難しさなど、他ではできない経験をたくさんしました。会長になったばかりの頃は、何をすべきか、どうやって進めるべきなのかわからないことだらけでした。また、今までになかった、自分から動いて、局員に指示を出さなければならぬという環境に、不安でいっぱいでした。

みんなで集まって、クリスマス会でランパスホールの階段に飾る絵を作成中



自治会アイリスの会長を経験したことで、自分の短所を多く見つめ直すことができ、自分自身を変えることができました。私は、指示する立場にいながら人に指示を出すことがとても苦手でした。そのため、自分がやりやすいように、するべきことをまとめた上で伝達する等、改善したことは多くあります。苦労もたくさんあり、知らないところで迷惑もたくさんかけていたと思いますが、そのおかげで将来に役立つ多くのことを経験できました。また、就職も希望していたところに決まり、今までの努力が実を結んだことがさらなる自信となりました。これからも自分が理想とする人物になるために、新しい挑戦を続け、両親にとって自慢の娘になりたいです。

## 届け、折り鶴 ～平和の想いをのせて～

幼児教育心理学科1年 梶田 未生  
(クラーク記念国際高等学校出身)

平和公園の親水テラスで  
メッセージキャンドルを並べました



「サローさんは、ご自身のつらく苦しい記憶と向き合い、日本だけでなく世界の人へ被爆証言を伝え続けられました。」

私たちは、NPO ANT・Hiroshimaの皆さまの力をお借りし、ICANとしてサロー節子さんへお祝いを届けました。300羽の折り鶴を折ったり、学科の垣根を越えたメンバーで折り鶴動画を作ったり、キャンドルメッセージに参加するなど、それぞれが自分たちでできる活動に参加しました。

▼オスロの国会議事堂前にサローさんが届けた鶴を飾ってくださいました



▲皆で300羽の鶴を折りました

私たちは若者の発信力をもって、想いを多くの人に知ってもらえるように、私たちの発信力で伝え広めていくことが大事なことだと学びました。私たちにできることは、案外たくさんあるのではないのでしょうか。

「サロー節子さんの想いを届けるために、わたしたちができること」

ICAN(核兵器廃絶国際キャンペーン)が2017年12月にノーベル平和賞を受賞し、各国に大きな驚きと影響を与えたことは、まだ記憶に新しいかと思えます。その授賞式で、何十年の間、被爆証言などの活動を続けてこられた広島女学院中高・大学の同窓生、サロー節子さんが演説を行われたのは、女学院生としてとても嬉しいニュースでした。



「抱le four」さんのご厚意で実現しました

## 学外展覧会「放課後花談」

幼児教育心理学科3年 才崎 琴都美  
(近畿大学附属東広島高等学校出身)

幼児教育心理学科3年 竹内 花織  
(沼田高等学校出身)

「好き」で続ける積極性の大切さ  
昨年12月に3人展『放課後花談』という個展を開催しました。展示したオリジナル絵本は、ちよっぴり不思議で優しく包み込むような作品になるように、話し合いながら共同制作しました。制作をしていく中で、たくさんの人に手軽に知ってもらえるように、豆本サイズの手作り絵本も製本し、販売を行いました。実際に多くのお客さまが手に取って、「素敵な作品だね」と声をかけてくださり、言葉に表せないほど嬉しかったです。元々は、「好き」でお互いが続けてきた、絵を描くことやお話づくりが、まさかこのような形でたくさんの人に知ってもらえるようになるとは思っていませんでした。だからこそ、今回の個展で「好き」を続ける積極性の大切さを感じました。



▲ちよっぴり不思議で優しい世界を目指しました

▼内田春香さん(右)と3人で個展を開催しました



「好き」で続ける積極性の大切さ  
「好き」で続ける積極性の大切さ  
「好き」で続ける積極性の大切さ

スをつくることは、「好き」に広がりを持たせることにつながると思っています。今後も活動を続けて、新しいことにもどんどん挑戦していきたいです。

# 私たちの キャンパスライフ

様々な出来事を体験した「キャンパスリポーター」たちが等身大の想いとともにレポートします。

## 管理栄養学科 食育活動 ～昆虫を守る田んぼづくり～

管理栄養学科1年 山根 瑞希  
(五日市高等学校出身)

管理栄養学科1年 大西 亜実  
(五日市高等学校出身)

食と自然について考える  
きっかけくれた田んぼ作り  
2017年の5月から「昆虫を守る田んぼ作り」の活動に参加し、小学生の子どもたちと一緒に、田植え、稲刈り、餅つきを行いました。この活動は、農業を使わない米作りを通して、水田に生息する昆虫たちを守りながら、ともに食べ物を分かち合う心を養うことを目的としています。米の生産から消費までの一連の流れを経験することで、食の大切さを改めて感じる貴重な体験となりました。

活動では、子どもたちに食への関心を高めてもらうために、食育クイズを行いました。米や旬の野菜など活動内容にそったクイズを考え、事前に資料を作成しました。当日は、子どもたちにもクイズを出題してもらおうなど、主体的に活動できるように工夫しました。

私たちは当初、食の専門家として教える立場であると思っていましたが、逆に子どもたちから自然と触れ合う楽しさを教えてもらいました。そして、子どもたちの活動に対する熱心な姿勢に毎回感動し、私たちの学びの刺激にもなりました。

また、田植えや稲刈り、餅つきの活動を実際に経験する中で、食物が消費者に届くまでのプロセスを知っておくことは、これから私たちが食と関わっていく上で大切だと思いました。私たちが当たり前のようにスー



子どもたちと一緒に田植えをしました



餅つき時の食育クイズの様子

パーで食材を買い、それを調理して食べるのができているのは、農家の方々が農作物を一生懸命育ててくださっているからだだと改めて感じました。人間が暮らしやすい環境にするだけでなく、自然と動物が互いに気持ちよく共存することができるよう、私たちはこれから、このような活動を続け、子どもたちと一緒に食と自然について考えていきたいと思っています。

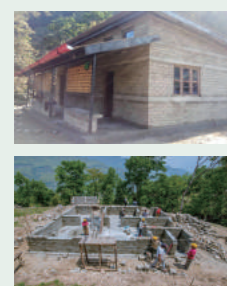
## 女学院 NEWS

### 本学卒業生のサロー節子さんがノーベル平和賞授賞式でスピーチされました！

2017年ノーベル平和賞に国際NGO「核兵器廃絶国際キャンペーン」(ICAN)が選ばれ、その授賞式が12月10日、ノルウェーのオスロ市庁舎にて執り行われました。授賞式では、カナダ在住の被爆者で、本学英文学部英文学科の卒業生でもあるサロー節子さんがICANの事務局長ベアトリス・フィンさんとともに登壇してメダルと証書を受け取り、フィン事務局長に続いて、受賞スピーチをされました。

サローさんは13歳の時、学徒動員先で被爆。九死に一生を得られましたが、大切なご家族を亡くされました。永年にわたりご自身の被爆の記憶を語り続けてこられただけでなく、核保有国に対し、「命ある限り、核武装国と核依存国に行動を迫り続ける」姿勢で尽力されたご功業が世界に認められたことは、私たち同窓生にとりまして、大きな喜びであり、誇りでもあります。サローさんのスピーチは本学のウェブサイトにも掲載しています。是非一読ください。

### 181号(2017年3月)でご紹介した「Nepal Project」の続報が入りました



大地震で被害を受けた農村部の小学校を再建するプロジェクトの続報です。留学生のIsooda Ajdariさんは大学祭で集めた寄付をネパールに送りました。小学校は4月末に完成予定です。

Here I would like to show pictures from progress of reconstruction at Jyamrung village of Nepal. Soon Nepali students will have access to an earthquake proof school, these pictures be a great testimony of hard work of Nepali men and women. I hope these will show you how "a small act of kindness can go a long way". I would like to thank individual donors, ANT Hiroshima, and Build Up Nepal NPOs.

国際教養学科4年 Isooda Ajdari

## 第33回広島女学院 クリスマスコンサート・メサイア

今年も学院主催のクリスマスコンサート「メサイア」が広島女学院ゲーンズホールにて開催されました。ヘンデルの「The Messiah」はオーケストラの演奏のもと、合唱と独唱によりキリストの誕生と宣教、受難、そして復活を歌い上げます。本学からは聖歌隊、アンサンブル・エスポワール、放送部も参加・協力しています。



## 10月～2月の出来事

- 《10月》  
23(土) 幼児教育心理学科「幼心運動会2017」
- 《11月》  
7(火)～8(水) フィリピン ミリアム・カレッジ来校  
18(土)～19(日) あやめ祭  
27(月) クリスマスツリー点火音楽礼拝
- 《12月》  
4(月)～8(金) 大人権週間  
13(水) 自治会アイリス2017年度第2回学生大会・クリスマス会  
17(日) クリスマスオープンキャンパス  
23(土・祝) 第33回広島女学院クリスマスコンサート・メサイア  
25(月) クリスマス
- 《1月》  
11(木) 成人祝福礼拝  
30(火)～31(水) 広島女学院大学入学試験(一般前期日程)
- 《2月》  
2(金) 広島女学院大学入学試験(一般前期日程)  
10(土) 秋学期授業終了

## クリスマスオープンキャンパス

今年は雪がちらちらと舞う中での開催となりました。オープニングイベントとして、キリスト教主義大学ならではのクリスマス礼拝を体験していただきました。各学科は展示などで学科紹介を行い、また体験型イベントでは、ブックマーカーや和風スノードーム、リースを作ったり、調理科学実習の授業を紹介するなど、楽しいプログラムを用意しました。



## フィリピン ミリアム・カレッジ来校

11月7日、神戸で日本文化研修中のフィリピンのミリアム・カレッジの学生9名が広島を訪問しました。ボランティア学生5人で、7日に平和公園と平和記念資料館を、8日に宮島をご案内しました。アイリス・インターナショナル・ハウスに宿泊し、歓迎昼食会には湊学長も出席しました。毎年本学訪問を楽しみにしてくださっています。



## 第17回広島女学院 クリスマスツリー点火音楽礼拝

待降節(アドヴェント)に合わせた夕べに開催され、学生・園児・教職員・保護者など約150名の参加者が集うなが行われました。湊晶子院長・学長によるクリスマスメッセージに続き、アンサンブル・エスポワール、聖歌隊、ゲーンズ幼稚園の子どもたちの演奏や合唱が響き渡りました。その後、みんなでクリスマスツリーの前でカウントダウン。湊院長・学長、学生代表、園児代表がクリスマスツリー点火スイッチを押し、夕空にツリーの電飾が煌きました。



# キャンパス アルバム

秋から冬にかけて開催した  
たくさんのイベントを紹介します。

## 第68回 あやめ祭

今年のあやめ祭のテーマは「笑～ Smile makes everyone happy～」。あやめ祭をきっかけに笑顔の輪を広げたいという、あやめ祭実行委員の気持ちを表しています。毎年大人気のトークショーは全席完売となり、広島ホームテレビとのコラボレーション企画も行いました。各大学のスタンツやバンド演奏がステージを賑やかに、生活デザイン・建築学科の学生がデザインした衣装でのファッションショーが華やかに行われ、今年も大盛況に終わりました。



## 女学院 NEWS

## 新しい女学院、はじまる。

2018年4月入学生から2学部5学科となります。

### 人文学部



英語を通して、  
国際理解を  
深め行動する

#### 国際英語学科

- GSEコース  
(Global Studies in English)
- 英語文化コース



日本文化を理解し、  
日本を世界へ  
発信する

#### 日本文化学科



人、生活、もの、  
地域を創る  
デザインを学ぶ

#### 生活デザイン学科

- 生活プロデュース
- 被服・ファッションデザイン
- インテリア・住居・建築デザイン
- 地域デザイン



「食」を通して、  
健康と生活の質向上に  
貢献

#### 管理栄養学科



子どもの心に  
寄り添う  
教育者に

#### 児童教育学科

- 幼児教育コース
- 児童教育コース

# 先輩からのメッセージ がんばれ 就活生

行動あるのみ!!!

不安に思う時間があるのなら、  
行動して自信をつける。  
自分の目で見て、話を聞いて  
確かめて確認する。  
行動を起こした先には、必ず  
得るものがある!

笑顔でいると  
本当にうまくいく  
ことが多いです。  
一緒に働きたいと  
思ってもらえるような  
笑顔を忘れずに!

将来自分が  
後悔しないように、  
今頑張ってください!

自信を持つために、  
やれることはとことんやる!  
それが他人からは  
不要に思えることも、  
今の自分がそれを必要としていて、  
最終的に自分の自信に繋がることなら、  
満足するまでやるべき!



野田 菜穂子



矢野 瑞穂



丸谷 美沙紀



館林 愛理香



栗原 梨佐子



高畑 成美



寺崎 吾子



西村 遥



宮武 南央子



山中 雅子



上瀬 梨里子



関永 美和



白井 ちひろ

大段 美七海



古賀 佳子



加藤 由希乃



大福 南津子



木村 かれん



大久保 真菜



川本 彩希



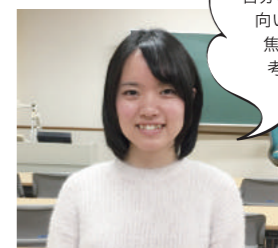
松井 彩花



福元 日奈子



水島 万里菜



宮地 遥



横藤 美奈子



松前 佳那



中丸 仁美



清水 美希

とにかく笑顔で!  
笑顔は自信にもつながります!

どんなときも  
できると信じて  
笑顔で!

業界研究、  
企業研究は絶対に大切です!  
事前準備をしっかりと、  
悔いのない就活に  
してください!

動いてみなければ  
始まらない!  
今まで積み重ねてきた  
努力を信じて!!

ありのままの  
自分で堂々と!

自分のやりたいこと、  
向いていることを  
焦らずゆっくり  
考えましょう。  
頑張ってください!!

自分の可能性を  
広げるチャンス!  
時には休憩して  
自分を見つめ直しながら、  
取り組んでくださいね!

笑顔で前向きに  
頑張ってください!

やると  
決めたら  
最後まで

毎日コツコツ努力し  
続けることが夢を叶える  
大きな近道です!  
応援しています!

なんとかなる!

他者と比べず、  
マイペースに!

笑顔を忘れず、  
自分を信じて  
頑張ってください!

大事なものは、  
自信と笑顔!

す。遅くなる理由に「何を  
したいかわからないから動  
けない」という人がいます。  
学生の皆さんが知る業界・  
企業はほんの一握りなので  
すから、何をしたいかわか  
らないのも当然。そんな時  
はとにかく動いてみることに  
情報を取りに自分から動い  
てみると、知らなかった企  
業・職種に出会える機会も  
広がります。  
世の中にはたくさんのお仕  
事があり、それぞれが何ら  
かの役割を果たすことで成  
り立っています。まずは毎  
日のニュースや新聞で、社  
会の動きに関心を寄せてみ  
ることもオススメです。社  
会問題や世の中の課題を知  
り、その中であなたがどん  
な課題に取り組みたいかと  
いう視点で、業界・企業・  
職種を考えてみるのも良いか  
もしれません。  
途中で迷ったり、困った  
りすることもあると思いま  
す。ぜひキャリアセンター  
に来てください。

毎年、就職活動のスター  
トが遅くなる学生は少なく  
ありません。しかし、遅く  
なるほど選択肢は狭まりま

Q 就活スタート!  
何したらいい?

## なるほど! 就活

目標が定まっている人もそうでない人も、  
自らが動くことで見えてくるビジョンがきっとあるはず。  
さあ、新しい世界へ向かって一歩踏み出してみよう!

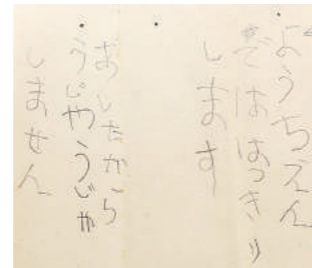


## ここに在ること

人間生活学部 管理栄養学科 佐藤 努



その手紙とともに、これもあった。これも母が捨てないでくれたものだ。『くろろうしてつくったお話』という表紙に挟まれて3作ある。毎日ひとつ作ることにして、3作で終わったのだ。葉半紙一枚の長編(題名「3人のけんか」)の要約と文に添えた絵を示す。



大阪から広島に来る際に、遺品等の処理業者に、生活に必要な物以外の殆ど全てを処分してもらった。なので、手元には思い出の品が殆ど残っていない。でも何かないかと探してみると、これがあった。幼稚園に入る前、母に書いた手紙だ。『ようちえんでははつきりします あしたからうじやうじやしません』と書いてある。

東北から下関の大学に入り、芋焼酎を飲んでばかりの厳しい寮生活の中、なんだか分からないうちに水泳部に入り、毎日3キロのノルマをこなして2ヶ月、ついに25メートル泳げたのだ。これは、男子として人生最高の自信に繋がった。息つきを覚えると、50メートルにも100メートルにも

記憶を辿ると、できなかったことの思い出が溢れる。当時ずっと心を憂鬱にしていた。しかし転機があった。

4年生くらいになると、夏は足繁くプールに通った。が、5年生だったか、25メートルプールの横の10メートルはとて長く、テストで泳いで溺れた。

当時の思い出にピーズがある。授業で習った。ピーズの粒を机に散らしたままで授業が終わった。その後で女の子と遊んだ。糸にピーズを通して、腕輪ができることを教えてくれた。嬉しかった。授業では、それをしていたらしい。

小学2年の時に宮沢賢治の伝記を読んだのだ。雨ニモマケズの一節が含まれている。僕の童話作りは、これで終了した。ボウフラ(蚊の幼虫)を飼っていたのもこの頃だ。

『ゆうじにゆうじろろが「どろんこ」をつけました。そのうちにけんかになりました。そこにみやざわけんじという人がきて、「つまらないからやめろ。」といいました。ゆうじろろたちはにげてしまいました。』(絵の真ん中がみやざわけんじ)

その時から自分の世界が広がった。九州や山陰、下関から仙台までの自転車旅行では、土地土地の生きている様子を体感した。卒業研究では太平洋へのマグロ延縄漁に同行し、海の深さ、空の高さ、さまざまな青さや風、空と海に挟まれた自分の小ささを知った。

おわりに、私たちの存在について考えてみる。宇宙が生じてからの悠久の時を、エネルギーなり生命なりで連綿と繋がりが続き、ごくごく最近、3億もの同胞と走り、その中でひとり受胎卵に与して今日を迎えている。たとえ自分を否定したくなっても、それも喜ばしいことだ。それは、悠久の時を繋ぎつてきた実績を背後に、いま思惟して存在していることの証明だからだ。自分を信じていい。意識しようがしまいが、奇跡のつながりの先端に私たちは在る。おとぎ話ではない。

### profile

人間生活学部管理栄養学科 准教授

佐藤 努



- ・研究領域 食品科学
- ・担当科目 食品学、食品学実験など
- ・趣味 静かな夜を過ごすこと 合気道 (また始めたいものです)

佐藤先生 おすすめ

学生時代に読んでほしい本&DVD

『寄生獣』岩明 均/著  
講談社 (アフタヌーンコミックス)

思想家の鶴見俊輔が、自分にとってのたった一冊の本と評していたのをテレビ番組で見たのがきっかけ。グロテスクなアクション漫画なのか…と読み始めは思う。それはそれで面白い。しかし最終的に、等身大の自分について深く考えさせられる。私の一冊は“The Tao of LEADERSHIP (John Heider 著)” (『老子』の解説内容と表現が美しい)。でも若い人に薦める一作は“寄生獣”。

## Vege-full menu

vol. 11

### 魚の魅力発見！ “魚を食べよう”メニュー

サーモンにクリームソースをかけ、魚を食べやすくアレンジしました。魚だけに含まれる良質な栄養素もあるので、上手に魚を摂って、健やかな毎日を送りましょう！



### “魚を食べよう”メニュー

- ①ごはんまたはパン
- ②サーモンのクリームソースかけ
- ③ごほうサラダ
- ④野菜スープ
- ⑤フルーツポンチ



管理栄養学科3年 中下 涼 (食育サークル) (五日市高等学校出身)

#### 魚は何か良いの？

魚には、体を作るものになるたんぱく質、が含まれているだけでなく、健康的な生活を送る上で欠かせない栄養が多く含まれ、その中でもDHA(ドコサヘキサエン酸)やEPA(エイコサペンタエン酸)が豊富に含まれています。肉や野菜にはほとんど含まれていないので、魚から摂るのが効率的といえます。

1人暮らしの学生はなかなか魚を買って食べる機会が少ないのでは？アイリスキッチンでは「焼いたり、煮たり、揚げたり」と、様々な調理法で美味しい旬の魚を提供しています。魚のよさを知り、積極的に取り入れていきましょう！

#### メニューのこだわりは？

野菜でも魚でも、できるだけ「旬」のものを使うように心がけています。旬のものは美味しいからという理由もありますが、皆さんに四季の変化を感じて欲しいという思いもあります。豊かな自然に恵まれ、四季折々に「旬」を味わえるのは、日本にしかない貴重な財産であり、大切な文化です。

#### メニューができるまでの経緯は？

皆さんは魚を食べていますか？現代の食生活は、食の洋風化とともに肉に偏りがちで、日本人の「魚離れ」が問題となっています。そこで、「魚をもっと食べてほしい」という思いから、アイリスキッチンでは必ず「魚」を使用したベジフルランチを提供しています。

### Recipe



#### サーモンのクリームソースかけ

- 材 料**
- ・ 鮭…70g
  - ・ 塩…0.2g
  - ・ こしょう…0.02g
  - ・ 薄力粉…5g
  - ・ 油…2g
- 【付け合せ】**
- ・ トマト…15g
  - ・ サラダ菜…10g
- 【クリームソース】**
- ・ しめじ…10g
  - ・ 玉ねぎ…10g
  - ・ 油…1g
  - ・ 薄力粉…2g
- ・ バター…2g
  - ・ 牛乳…40g
  - ・ コンソメ…0.5g
  - ・ 塩…0.2g
  - ・ こしょう…0.01g
  - ・ パセリ…0.1g

#### 作り方

- 1 鮭に塩、こしょうをふり下味をつける。水気をふき、薄力粉をまぶして油をひいたフライパンで焼く。
- 2 玉ねぎは薄切り、しめじは石づきを取り手でほぐす。鍋に油を熱して炒める。
- 3 クリームソースを作る。鍋にバターを溶かし、薄力粉を加えて色がつかないように弱火で炒める。さらっとした状態になったら火からおろし、冷めた牛乳をダマができないように加えてのばす。
- 4 2を加えて煮込み、コンソメ、塩、こしょうで味をととのえる。
- 5 皿に鮭のソテーを盛る。4をかけ、みじん切りのパセリを散らし、くし型切りにしたトマト、サラダ菜を添える。

### Pick Up

#### 月に一回、献立会議を行っています！



食堂を利用しやすく、美味しい食事の提供ができるように、献立会議を行っています。食育サークルからは、ベジフルメニュー、イベント食を提案しています。定期的にアンケート調査を行い、学生の皆さんの声を分析し、より良い食堂にしていきたいと日々取り組んでいます。



# ON THE COVER 今月の表紙

## ダンス部「Baby☆'s」の4年生メンバー



ダンス部「Baby☆'s」は約40名で活動しています。私たち3人は学部が違いますが、1年生の頃からフラワーフェスティバルやあやめ祭などたくさんのイベントに出演してきました。4年生となり、引退したのですが、思い出作りにあやめ祭でOGとして最後のステージを飾ることができました。ダンス部では、学部学年の違う学生と仲良くなれ、イベントを通じて成長し、たくさんの思い出を作ることができます！皆さん是非入部してください。

- 国際教養学科4年 坂野 真佑 沼田高等学校出身(元部長)
- 幼児教育心理学科4年 森内 朋美 如水館高等学校出身(元副部長)
- 幼児教育心理学科4年 城田 朋花 広島国際学院高等学校出身

### 編集後記

4年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。  
誌面に登場いただいた4年生さんには、卒論を提出してホッとしている年末年始や、試験勉強に忙しい時期に、原稿準備や寒い外での薄着での撮影にご協力いただき、本当にありがとうございました。毎年申し訳なく思っています。来年の4年生さんも同じ目に遭わせると思っていますが、ご協力よろしくお願ひします。(I)

### お知らせ

学生課では学生向け情報をtwitterで発信してま〜す。フォローよろしくお願ひします。  
@HJU\_gakusei

## キャンパスリポーター募集

# 私たちと一緒に『Campus News』を作ませんか？



管理栄養学科3年 船木 奈々果  
(広島女学院高等学校出身)

『Campus News』の制作のお手伝いをしてくださるキャンパスリポーターを募集しています！広島女学院大学はどんな大学なのか、どんな人がいるのか一緒に探ってみませんか？

活動内容は、教職員や学生への取材、写真撮影など。見たことや聞いたこと、体験したことを記事にして記者気分も味わえますよ。学生時代の貴重な体験、思い出になること間違いなし！学部や学科は問いません。少しでも興味があれば下記問い合わせ先までご連絡ください。また、「紙面に登場したい！私を取材して欲しい！」なんて方も同時に募集中です。

問い合わせ先 / 総合学生支援センター学生課  
TEL : 082-228-0407  
学生課アドレス : gakusei@gaines.hju.ac.jp

### キャンパスカレンダー

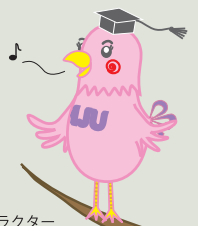
# Campus Calendar

過ごし方はあなた次第。

思いっきりキャンパスライフを楽しもう！

- 4月**
- 4(水) 入学式(13:30)  
新入生オリエンテーション
  - 5(木)~7(土) 前期オリエンテーション
  - 5(木)~14(土) 履修登録(4/14 22:00 締切)
  - 9(月) 前期授業開始
  - 10(火) 「キリスト教の時間」開始
  - 17(火) ゲーンズ記念礼拝 ゲーンズ墓前礼拝
  - 19(木)~20(金) オリエンテーションキャンプ  
(国際英語学科/日本文化学科/生活デザイン学科)
  - 20(金)~21(土) オリエンテーションキャンプ(管理栄養学科/児童教育学科)
  - 20(金)~27(金) 履修登録確認表交付・履修修正申告期間(4/27 12:00 締切)
  - 23(月) ゲーンズデー

- 5月**
- 3(木)~5(土) ひろしまフラワーフェスティバル参加(おりづるの広場)
  - 21(月)~25(金) 春季宗教強調週間
  - 23(水) 宗教特別講演会(5・6限)
  - 24(木)~31(木) 履修登録科目取消期間(5/31 12:00 締切)
- 6月**
- 1(金)~21(木) 教育実習
  - 17(日) 第1回オープンキャンパス



広島女学院大学 オリジナルキャラクター  
ジョガクインコちゃん

学生たちの最新の活動、学内ニュースを発信しています！

<https://www.hju.ac.jp/info/socialmedia.php>

大学SNS  
アカウント

